

新今宮駅(JR環状線)④

萩ノ茶屋から懐かしの紙芝居博物館

花園町駅(地下鉄四つ橋線) 萩ノ茶屋駅(南海高野線) 今池駅(阪堺電車阪堺線)
動物園前駅(地下鉄御堂筋線・堺筋線)

「大阪あそび歩マップ集」
その3 No.135

JR新今宮駅

西改札口から出て南海本線のガード下を南下していきましょう。すぐに南海萩ノ茶屋駅に出ます。浪花の下町風情が色濃く残るエリアです。

①萩ノ茶屋駅

● 漫画『じゃりん子チエ』の作者・はるき悦巳は、西成区西萩出身ですが、同作に登場する架空の駅「西萩駅」は、萩ノ茶屋駅の雰囲気とよく似ているのでモデルという説があります。

②鶴見橋商店街

● 戦前には天満橋、心齋橋と並ぶ「大阪三橋」と称されるほど賑わいました。東西約1キロに及ぶ商店街で大阪市北区の天神橋筋商店街(約2.6キロ)、東京都品川区の戸越銀座商店街(約1.6キロ)に次ぐ「日本で3番目に長い商店街」という人もいます。

鶴見橋商店街



④辻田菓子店(元ダンスホール)

● 戦前より営業されている駄菓子屋です。大正時代のダンスホールだった建物を使用しています。この建物に魅せられた某画家が、畳2畳分に店舗の絵を描き、その絵は現在、ブルガリアの美術館に飾られているとか。

⑤サンスーク花園商店街

● 平成12年(2000)に商店街活性化と国際交流を兼ねたプロジェクト「一商店街一国運動」でイン

● ドネシア総領事館の応援を受け、その名残でインドネシアをテーマにした雑貨屋などがあります。

⑥塩崎おとぎ紙芝居博物館

● 昭和30年(1955)設立。全国で唯一残る街頭紙芝居師団体「三邑会」の代表・塩崎源一郎・ゆう夫妻の自宅でした。紙芝居画はすべて手書きで、世界に1枚しかない紙芝居原画が30万枚保存されており、現在でも紙芝居師が全国で活躍しています。入館には事前予約が必須。



⑦イズミヤ花園店

● 和田源三郎(1897~1974)が大正10年(1921)にわずか7坪の店舗で「いずみや呉服店」を創業。源三郎は敬虔なクリスチャンで聖書の「ヤコブの泉」(私が与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る)から店名を名づけました。昭和37年(1962)にイズミヤ専務・和田満治が欧米型のチェーンストア経営システム導入を目指す研究団体「バガサスクラブ」に参加。同クラブにはダイエーの中内功、イトーヨーカ堂の伊藤雅俊、岡田屋(現・イオン)の岡田卓也、セルフハトヤ(現・マイカル)の西端行雄などがいて、ほとんどが30代の若手経営者でしたが、その後、チェーンストア経営で大成功を収め、日本を代表する小売業者となっていました。

地下鉄花園町駅

